弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため，患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので，お知らせいたします。

臨床研究名称：　術前化学療法による乳癌の組織学的治療効果と画像診断的特徴との関連についての検討

研究の目的

乳癌に対する術前化学療法（手術前に抗がん剤を投与し腫瘍の縮小をはかる治療）が、実際にどの程度の効果をもたらしているかを評価する方法が、現在課題となっています。本研究では、抗がん剤により術前化学療法を経た後に手術された患者さんを対象に、手術された検体を病理学的に検査し、抗がん剤がどの程度効いたかを評価した後、術前に撮影された抗がん剤投与前と後の造影 MRI 画像を比較検討します。これにより、実際に抗がん剤がよく効いた方と効かなかった方との間に、どのような MRI 画像の特徴があるのかを検討し、抗がん剤の効果を画像的に詳しく評価する方法を開発するのが本研究の目的です。

研究実施期間：　実施許可日～2027 年 7 月 31 日

対象となる方：　2019 年 1 月～2024 年 4 月までの間、青森新都市病院乳腺外科を受診し、乳癌と診断され、抗がん剤による術前化学療法を経た後に手術を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合，提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

手術で摘出された乳癌の病理標本、乳癌の放射線画像、および電子カルテに記載されている放射線画像の撮影条件に関わる臨床情報（体重や腎機能）を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、乳癌の病理標本を顕微鏡で観察することで、癌細胞のどれくらい癌細胞が死滅しているかを観察し、その他の細胞にどのような変化が生じているかを検討します。その後、術前に撮影された抗がん剤治療前後の MRI 画像を照合することで、両者の関連性を検証します。

これらの試料および患者さんの情報は、本研究の実施施設である弘前大学に提供されます。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について，より詳細な内容をお知りになりたい場合や，試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は，以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合，当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし，連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は，該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので，ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座　後藤慎太郎（助教） 〒036-8562　青森県弘前市在府町 5 電話番号: 0172-39-5029 FAX 0172-39-5030